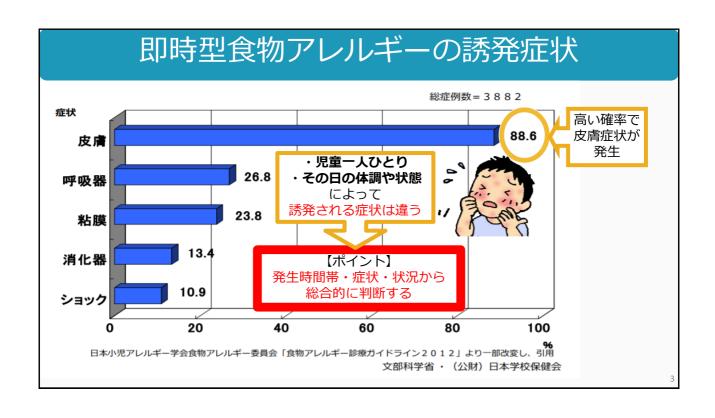
食物アレルギー症状を 見落とさないための研修

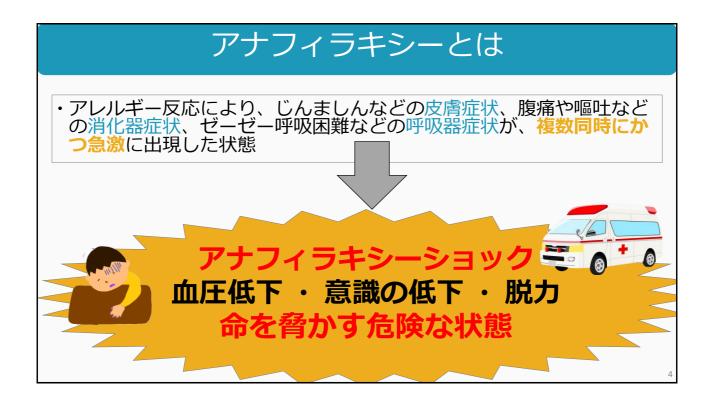


1 学校で問題になる食物アレルギーのタイプ

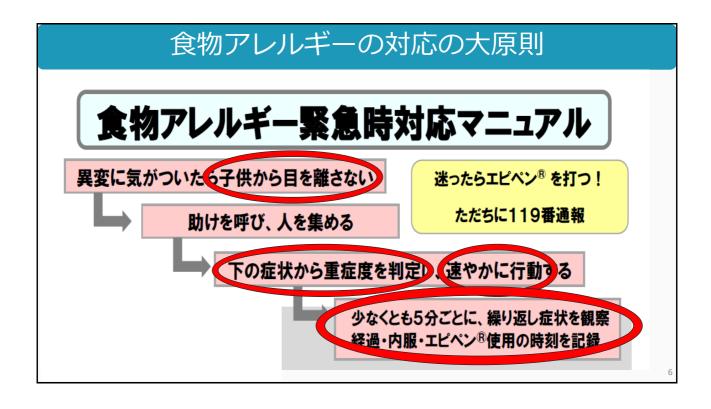
	タイプ	頻度の高い食品	症状が出現する までの時間	アナフィラ キシーの 可能性
即	诗型	※年齢によって異なる 7-17歳では、鶏卵、牛乳、 木の実類、果物、落花生 など	原因食品を食べて 30分~1時間 くらいが発症のピーク	高い
特殊型	食物依存性 運動誘発 アナフィラキシー	小麦、エビ、カニなど	特定の食品を食べた後、 4時間以内 (多くは2時間以内) に運動すると誘発	<u>とても</u> 高い
	口腔 アレルギー 症候群	生の果物、生の野菜など(加熱すれば問題なし)	食後5分以内 に口腔内の症状が 誘発される	低い

2



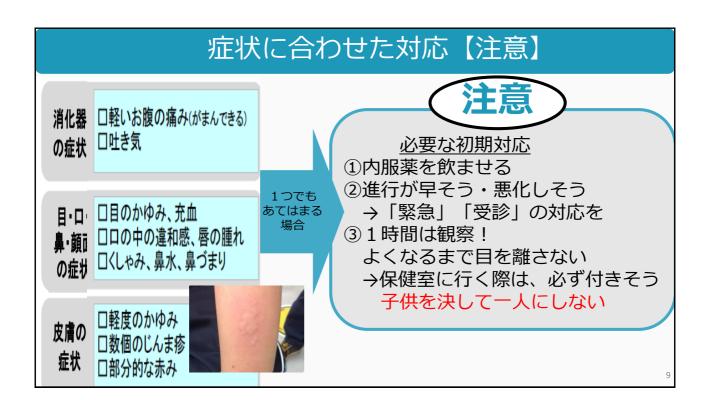














食物アレルギー対応は 「おかめ だいすき」



おか しいな?と思ったら・・・

- ①こどもから 炒を離さない
- ② たすけを呼ぶ
- ③いどう可否の判断(その場で安静か移動させるか)
- ④ すみやかに行動する
- ⑤ きろくをとる

10

参考資料

- ・学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改定》 公益財団法人 日本学校保健会
- ・文部科学省HP アレルギー疾患対応資料 (DVD) 映像資料及び研修資料 https://www.mext.go.jp/a menu/kenko/hoken/1355828.htm
- ・学校における食物アレルギー対応マニュアル【5訂】埼玉県教育委員会
- ・たんぽぽこどもクリニック 石川功治(症状の写真) http://www.tanpopokodomo-clinic.com/case/

11



ご参加 ありがとうございました

この研修プログラムは、事前自己評価・研修・事後自己評価で構成されています。 研修プログラムの作成にあたっては、さいたま市民医療センター医師 西本 創先生に監修を得て、 女子栄養大学 実践養護学研究室(塩澤・大沼ら)で作成しました。無断転載等はお控えください。

12

食物アレルギー緊急時対応マニュアル

異変に気がついたら子供から目を離さない

助けを呼び、人を集める

迷ったらエピペン[®] を打つ! ただちに119番通報

下の症状から重症度を判定し、速やかに行動する

全身の 症状 口ぐったり

口意識もうろう

口尿や便をもらす

□脈が触れにくいまたは不規則

口唇や爪が青白い

少なくとも5分ごとに、繰り返し症状を観察 経過・内服・エピペン®使用の時刻を記録

呼吸器

口のどや胸が締め付けられる

口声がかすれる

口犬が吠えるような咳

の症状 口息がしにくい

口持続する強い咳き込み

□ゼーゼーする呼吸

口数回の軽い咳



© 埼玉県

消化器の定状

□持続する強いお腹の痛み (がまんできない痛み)

の症状 □繰り返し吐き続ける

口中等度のお腹の痛み

□1~2回のおう吐

□1~2回の下痢

□軽いお腹の痛み(がまんできる) □吐き気

目・口・ 鼻・顔面 の症状 上記の症状が 1つでもあてはまる場合

□顔全体の腫れ □まぶたの腫れ 口目のかゆみ、充血

□□の中の違和感、唇の腫れ

□くしゃみ、鼻水、鼻づまり

皮膚の 症状



口強いかゆみ

口全身に広がるじんま疹

口全身が真っ赤

□軽度のかゆみ

口数個のじんま疹

□部分的な赤み

上記の症状が 1つでもあてはまる場合



上記の症状が 1つでもあてはまる場合



①エピペン®を使用

②救急車を要請(119番通報)

→緊急時連絡先医療機関に連絡

→保護者に連絡

③その場で安静を保つ(*)

→立たせたり、歩かせたりしない

④その場で救急隊を待つ

⑤可能なら内服薬を飲ませる

*安静を保つ体位

◇ぐったり、意識もうろうの場合、仰向けにして足を15~30cm高くする

◇吐き気・嘔吐がある場合、横向きに

◇呼吸が苦しく仰向けになれない場合、

上半身を起こし後ろに寄りかからせる

①内服薬を飲ませ、

エピペン®を準備

②速やかに医療機関を受診 (救急車の要請も考慮)

③急速に進行する場合 →「緊急」の対応

④座位にして会話をしながら 観察すると、急変に対する 判断・対応がしやすい ①内服薬を飲ませる

②「急速に進行する」又は 「悪化が予想される」場合 →「受診」「緊急」の対応

③少なくとも1時間は観察 完全によくなるまで目を 離さない

出典元:埼玉県教育委員会「学校における食物アレルギー対応マニュアル【5訂】

監修:さいたま市民医療センター小児科 西本 創

作成:学校における食物アレルギー対応に関する課題検討委員会(埼玉県教育委員会) 環境再生保全機構「よくわかる食物アレルギー対応ガイドブック」を加工して作成